

令和5年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会次第

令和5年7月24日（月）
午後2時から4時まで
袖ヶ浦市立中央図書館
2階 視聴覚ホール

（辞令交付式）

自己紹介 協議会委員、教育部職員

1 開 会

2 あいさつ

（1）委員長あいさつ

（2）教育長あいさつ

※出席人数確認、配布資料確認

3 議 題

（1）令和4年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について（第2回） : p.2

（2）袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について : p.17

4 報告事項

（1）令和5年度図書館経営方針及び重点施策について : 別冊

（2）袖ヶ浦市電子図書館の利用状況について : p.21

（3）令和5年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について : p.25

（4）その他

 デイジー図書について

 次期図書館窓口等運営委託について

 ながうら健康福祉支援室の移転後の施設活用等について

 公民館の市長部局移管について

5 閉 会

第 1 9 期袖ヶ浦市立図書館協議会委員名簿

氏 名	選 出 区 分	備 考
すずき だいすけ 鈴木 大介	学校教育 蔵波中学校校長	2 期目
みかみ あやこ 三神 亜矢子	学校教育 袖ヶ浦高等学校実習助手	新任
きくち いくこ 菊地 育子	学校教育 平岡小学校学校司書	1 期目
こばやし きみよ 小林 君代	社会教育 おはなし会ボランティア	2 期目
いしい きみえ 石井 喜三江	社会教育 公民館運営審議会委員	2 期目
たかはし かずこ 高橋 和子	家庭教育 ファミリーサポートセンター提供会員、家庭教師	4 期目
みやこし さとこ 宮越 賢子	家庭教育 公募	1 期目
よしむら まりこ 吉村 真理子	学識経験 千葉敬愛短期大学副学長	3 期目
ほしの ひろし 星野 裕司	学識経験 元千葉市立美浜図書館館長	2 期目
たけい たかふみ 武井 隆文	学識経験 元袖ヶ浦市職員	1 期目

委員任期

令和 4 年 1 2 月 1 日から令和 6 年 1 1 月 3 0 日まで

議題（１）令和４年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について （第２回）

“図書館はサービス水準の向上を図るため、サービスの実施状況について点検及び評価を行う際の評価指標及び目標年度を令和７年度とする数値目標を設定し、その達成状況等について、年度ごとに点検及び評価を行います。”

（「袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画」３－５サービス評価指標 による）

図書館法は、第７条の３及び第７条の４において、図書館が自らの運営状況について評価を行い、その結果に基づき、運営の改善のための必要な措置を講じ、運営状況に関する情報を地域住民等へ積極的に提供するように努めなければならないことを規定しています。

袖ヶ浦市立図書館は、平成２３年度に袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画を策定し、その後、地域住民の代表である図書館協議会の協力を得ながら、図書館サービスの実施状況について年度ごとに点検・評価を行い、公表してきました。

第３次図書館サービス網計画の計画期間は令和２年度で満了し、袖ヶ浦市立図書館は、令和３年度を初年度とする袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画を新たに策定しました。今回は、前期計画２年目の点検・評価となります。

なお、第４次図書館サービス網計画の計画期間は、令和３年度から令和１２年度までの１０年ですが、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するため、計画期間を前期と後期の各５年に分け、サービス評価指標及び参考指標と数値目標については、前期の最終年度である令和７年度を目標年次としています。

令和４年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価のスケジュール

時 期	作 業 内 容
１月まで	・令和４年度の取組を、第４次図書館サービス網計画のサービス内容（１）（２）（３）のシートに分けて点検する。
２月～３月	・【令和４年度第３回図書館協議会】図書館協議会委員の意見を伺う。
４月～６月	・シートに記載した点検内容の追加及び修正を行うとともに、確定した令和４年度の実績数値によって、サービス評価指標の達成度について評価する。
７月	・【令和５年度第１回図書館協議会】図書館協議会委員の意見を伺う。（前回の追加及び修正）
８月	・教育部課長会議及び教育委員会で報告する。
９月上旬	・図書館のホームページを通じて公表する。

令和4年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価の評価方法

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画において、数値目標を設定した指標は、サービス内容(1)に対応するサービス評価指標(①～⑪)と、サービス内容(2)(3)に対応する参考指標(⑫～⑳)で構成されています。これらの指標のうち、参考指標については主に活動指標(※1)であることから評価の対象とせず、成果指標(※2)が主である①～⑪のサービス評価指標の達成度に基づいて評価するものとししました。

なお、袖ヶ浦市立図書館では、日本図書館協会が策定した「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら図書館サービスの遂行に努めました。しかし、感染予防対策を講じることが困難な一部のサービスや事業については停止や制限等の措置を取ったことから、図書館運営に対する新型コロナウイルスの影響を考慮し、令和4年度の点検・評価については以下の方法で行いました。

※1 活動指標：目標を達成するための手段（事業の進め方・やり方）の大きさを表す指標。（アウトプット指標）

※2 成果指標：事務事業を行うことによって対象にどれだけの効果を与えることができたかを表す指標。（アウトカム指標）

1 点検

令和4年度に行った図書館サービスについて、第4次図書館サービス網計画のサービス内容(1)(2)(3)ごとの取組状況シートを作成し、「取組内容」「指標の実績値と達成率」「成果・効果」「課題」「今後の対応」を記載しました。

2 図書館協議会からの意見

地域住民の代表である図書館協議会委員からの意見をサービス内容ごとに伺い、サービス内容(1)(2)(3)のシートに「図書館協議会からの意見」としてまとめました。

3 評価

(1) サービス評価指標①～⑪の目標値に対する達成度を5段階表示しました。

◎：目標値に対して100%以上の達成率
○：目標値に対して80%以上100%未満の達成率
△：目標値に対して60%以上80%未満の達成率
×：目標値に対して60%未満の達成率
－：目標値を達成するために実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおり実施できなかった。

(2) サービス評価指標①～⑪の達成度について、◎を30点、○を20点、△を10点、×を0点として採点し、平均値を全体評価としてA・B・C・Nの4段階で表示しました。

全体評価区分

A：施策の成果が十分に図られている。24点以上（80%以上）

B：施策の効果が図られ、一定の成果があった。

18点以上24点未満（60%以上80%未満）

C：施策の成果が十分に図られているとは言えず改善を要する。

18点未満（60%未満）

N：新型コロナウイルス感染症の影響により、指標の達成度に「－」が半数以上あり、評価不可能である。

＜令和４年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価＞

袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画に定めるサービス評価指標の、令和４年度における達成度は以下のとおりでした。

令和４年度達成度点数合計 240 点÷項目数 11＝平均値 21.8 点⇒全体評価：B

サービス評価指標	R7 目標値	R4 実績値	達成率	達成度	点数
①市民１人当たりの所蔵図書冊数	11.3 冊	10.9 冊	96.5%	○	20 点
②袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数	300 冊	345 冊	115.0%	◎	30 点
③年間個人貸出利用者数	149,000 人	127,647 人	85.7%	○	20 点
④年間個人貸出資料点数	550,000 点	531,779 点	96.7%	○	20 点
⑤市民１人当たりの年間個人貸出資料点数	8.5 点	8.1 点	95.3%	○	20 点
⑥年間市民新規登録者数	1,400 人	1,181 人	84.4%	○	20 点
⑦市民登録率	42%	38.0%	90.5%	○	20 点
⑧年間リクエスト処理件数	55,000 件	68,269 件	124.1%	◎	30 点
⑨年間レファレンス処理件数	1,200 件	936 件	78.0%	△	10 点
⑩１か月当たりのウェブ予約受付件数	4,000 件	4,277.3 件	106.9%	◎	30 点
⑪来館者満足度	80%	74.0%	92.5%	○	20 点
全 体 評 価			B	合計点	240 点
				平均点	21.8 点

【全体評価】

サービス評価指標 11 項目の達成度点数合計点 240 点を項目数 11 で除算した平均点は、21.8 点となり、全体評価は「B」となります。

【総括】

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いたこともあり、利用状況も改善され、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。

サービス評価指標では、全11項目のうち、10項目で達成率80%以上となりましたが、達成率100%を超えた項目は②、⑧、⑩の3つのみでした。

達成率80%以上100%未満となった7つの項目のうち、①一人当たりの所蔵図書冊数、⑤市民1人当たりの年間個人貸出資料点数については、図書館サービスの充実や積極的な情報提供に努めた結果、所蔵図書冊数、貸出資料点数ともに順調に増加しました。限られた予算の中で図書館として必要な資料だけでなく、市民の暮らしがより豊かなものとなることを目指し、課題解決や生涯学習の一助となるべく、長い年月に渡り活用できる良書を厳選して購入しております。

⑦市民登録率については、令和2年度に市人口が令和7年度目標値65,000人を超え、令和5年3月末には65,777人となり人口増加を続けています。市民登録率の目標値は市人口の42%で、27,626人の登録が必要でしたが、2,629人不足しており達成率100%には及びませんでした。図書館を利用してもらえるように、きっかけづくりのイベントとなる読み聞かせ、お話し会などを開催し、広報紙や図書館ホームページ、ツイッターなどを活用してPRを行うことで新規登録者増に努めます。

③年間個人貸出利用者数、⑥年間市民新規登録者数の2項目については達成率が90%未満であり、この項目の達成率を向上させることは、④年間個人貸出資料点数、⑦市民登録率など他の項目の達成率向上にもつながることから、前述のとおり利用者、新規登録者の増に取り組み、より多くの市民が「市民の書斎として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」図書館を利用するように努めます。

⑪来館者満足度については、「図書館の利用に関するアンケート結果報告書 令和4年度」でアンケート項目として設けていたもので、「満足」「やや満足」と回答のあった割合が74.0%でした。アンケートでは図書館の良いところ、改善して欲しいところ、自身の図書館への思いなどもあわせて書いていただき、図書館職員の励みにもなりました。今後一層利用者の図書館に対する期待に応えられるように努め、満足度が向上していくようにしていきたいと考えます。

また、昨年度目標値に対し60%未満の達成率だった⑨年間レファレンス処理件数は、昨年度比で40%以上増加しましたが、残念ながら達成率80%に満たず△の評価となりました。令和5年度は、来館者数もコロナ禍前の状況に戻りつつある中、フロアワークでの声掛けを行い、中央図書館では児童カウンターへの職員配置の再開などを行い、レファレンス処理件数の増に取り組みます。

サービス内容（１）「資料及び情報の収集、提供等」取組状況シート

（評価については５ページに掲載）

下線部は前回の会議後に追加・修正した箇所

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 図書館資料の収集

- ・「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、新刊図書を中心に購入し、全館の開架資料 313,194 冊に対して 11,420 冊を受入（うち購入 10,288 冊）し、開架書架の約 3.6% を更新した。
- ・寄贈図書の受入れを積極的に行い、1,100 冊（一般書 1,065 冊（うち郷土資料 545 冊、一般用 520 冊）、児童書 35 冊）を受け入れた。
- ・行政資料について年度当初に市役所内に広く寄贈を呼び掛けた。データのみで公表した資料は図書館で製本して受け入れたほか、電子資料としても保存することとした。図書館で製本した袖ヶ浦市関係郷土行政資料 41 タイトル、99 冊。

☆平川図書館の小説の書架について、一番下の棚を空けて高齢の利用者でも本を探しやすいように配慮した。

② 貸出サービス

☆幅広い年代に対して図書館の豊富な資料を紹介する取組みとして、特設コーナー等で市民の生活課題の解決に資するテーマを積極的に取り上げた。６月と９月にはミニ特設コーナー（６月「千葉を知ろう」、９月「自殺予防週間関連ミニコーナー」）を設置した結果、多くの資料貸出があった。また、平川図書館では蔵書内容の特性を活かして、独自のテーマで展示する月を設けた。

- ・We b O P A C（インターネット上でアクセスできる蔵書目録）上で「図書館おすすめ」の「ビジネス書」「自殺予防週間関連」「男女共同参画社会関連図書リスト」等を更新したほか、利用者の関心が高いと思われるNHKの大河ドラマに合わせたテーマなどを取り上げた。
- ・男女共同参画週間（6/23～6/29）に合わせ、６月の特設コーナー「共に生きる」で関連図書を紹介した。また、司書が選定した令和４年度版「男女共同参画社会図書リスト」を作成し、図書館（中央・長浦・平川図書館）だけでなく市民協働推進課でも配布した。

☆特設コーナーとは別に、時事的なテーマのおすすめ図書を紹介する取組みとして、４月に中央図書館でウクライナ戦争関連図書コーナーを設置した。また、長浦おかのうち図書館のカウンター前に、時節にちなんだテーマに関するおすすめ図書コーナーを、年間に5つのテーマで設置した。

- ・映画会、文芸講座など読書普及事業の開催時に関連図書を紹介した。また、講座「相続財産どこからどこまで？」の開催に合わせ、長浦おかのうち図書館のカウンター前で「シニアライフをたのしむ」というテーマで展示・貸出を行った。さらに、秋のトショロ月間の企画として、長浦おかのうち図書館のカウンター前で「図書館で楽しむ日本の美・世界の美」というテーマで展示・貸出を行った。
- ・図書館ホームページに図書館員の個性を生かしたテーマで「図書館員のおすすめ」を２か月ごとに掲載した。
- ・「若い人に贈る図書館お薦めの20冊」の図書リストを改訂して図書館内で配布した。また、館内の特設コーナーやWe b O P A Cの「図書館おすすめ」、ツイッターでもリストを紹介した。
- ・平岡公民館に設置している中央・長浦・平川の雑誌のバックナンバーのタイトルを見直し、より利用者のニーズに応じたものに変更し、貸出の増につなげた。

- ・スタンプラリー、本のおたのしみ袋、えほんのふくぶくろなど、資料の貸出増につながる事業や企画について年間を通じて推進した。
 - ・長浦・平川における児童書の利用促進を図るため、対象年齢別に「すぐに借りて帰りたい人のためのおすすめ絵本セット」を作成した。
 - ・保育所がコロナ禍で令和2年度以降中止していた集団での来館を再開し、11月以降、各地区の保育所の子どもたちが定期的に図書館・図書室を訪れ本を借りるようになった。
- ☆図書館を直接利用しない市民にも図書館の資料を広く提供するため、新たに市内デイサービス提供事業者へ団体貸出サービスについての利用案内を行った。
- ★市民の読書環境充実と、図書館の利用機会の拡大を図ることを目的として、図書館を利用する機会が少ない勤労世代や学生を主な対象に、来館しなくても利用できる電子図書館サービスを8月から開始した。提供コンテンツ数292点、のべ貸出冊数734点

③ レファレンス・情報提供サービス

- ・市民の課題解決を支援するため、レファレンスサービスを推進し、インターネットやデータベース等も活用して、利用者の求めに応じた資料及び情報の提供・紹介等を行った。
 - ・袖ヶ浦市立図書館の所蔵資料では解決できないレファレンスについて、県立図書館へのレファレンス依頼を行い、利用者の課題解決に努めた。
- ☆パスファインダー（調べ方案内）は、大人向けに「『新聞記事の探し方』～調べ方案内～」改訂版と「相続・遺言」を、児童向けには「仕事・職業について」をそれぞれ作成し、図書館のホームページに案内を掲載した。紙の資料は全館で配布した他、テーマに合わせて活用してもらうために、郷土博物館など社会教育施設や高齢者支援課等関係機関にも配布した。
- ・図書館の特設コーナーで、月替わりで時機をとらえた共通のテーマで関連図書を紹介した。SDGsの目標に対応したテーマを積極的に取り上げ、17の目標のうち8つの目標について紹介した。また、秋のトショロ月間においてもSDGsに関する啓発を図った。
 - ・市役所職員向けに毎月、袖ヶ浦市関連の新聞記事見出し一覧を公開するとともに、レファレンスサービスの周知を行った。
- ☆図書館だよりでレファレンスの事例紹介を行うとともに、中央図書館レファレンスコーナーの掲示物のリニューアルを行い、レファレンスに関する周知を図った。

サービス評価指標	前期計画 目標値 (R7)	R4 実績値 (R5.3月末)	達成度
①市民一人当たりの所蔵図書冊数	11.3 冊	<u>10.9 冊</u>	○
②袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数	300 冊	<u>345 冊</u>	◎
③年間個人貸出利用者数	149,000 人	<u>127,647 人</u>	○
④年間個人貸出資料点数	550,000 点	<u>531,779 点</u>	○
⑤市民1人当たりの年間個人貸出資料点数	8.5 点	<u>8.1 点</u>	○
⑥年間市民新規登録者数	1,400 人	<u>1,181 人</u>	○
⑦市民登録率	42%	<u>38.0%</u>	○
⑧年間リクエスト処理件数	55,000 件	<u>68,269 件</u>	◎
⑨年間レファレンス処理件数	1,200 件	<u>936 件</u>	△
⑩1か月当たりのウェブ予約受付件数	4,000 件	<u>4277.3 件</u>	◎
⑪来館者満足度	80%	<u>74.0%</u>	○

成果・効果
・ 特設コーナーだけでなく、WebOPACや読書普及事業など様々な機会を通じて、図書館職員の選んだおすすめ図書を紹介するなど利用増につながる取組みを積極的に行ったことにより、個人貸出利用者数、個人貸出資料点数ともに増加した。 ・ 電子図書館を開設したことにより市民の新規登録者が増加し、開館中に図書館へ足を運ぶことが難しい学生や勤労世代へ利用機会の拡大を図ることができた。
課題
・ レファレンス処理件数が、回復傾向にはあるもののコロナ禍前の令和元年度の水準に満たないことから、図書館から積極的にPRしていく必要がある。 ・ 電子図書館の主な利用者層は現状では40～60代であり、当初想定していた10～20代の利用が少ないことから今後の利用促進について検討する必要がある。
今後の対応
・ 図書館だよりでレファレンスの事例紹介を行う等、レファレンスサービスの周知活動を行うとともに、感染状況を考慮しながらフロアワークでの声掛けや中央図書館児童カウンターへの職員配置の再開を検討し、レファレンスサービスの向上に努める。 ・ 電子図書館がより多くの市民に利用されるように、図書館ホームページ（トップページ）に電子図書館のバナーを作成し、容易にアクセスできるようにするとともに、電子書籍の小説について、より幅広い世代に読まれる一般文芸書の比率を増やすなど選定方針を変更する。
図書館協議会の意見
・ <u>小さい子どもでも利用登録ができるという事についての周知が十分ではないと思います。子どもが図書館に足を運んだ時に登録に繋がるように、児童コーナーに張り紙等をするものを検討されてはいかがでしょうか。</u> ・ <u>新規登録について、WEB上で登録ができるような仕組みの導入を検討されてはいかがでしょうか。</u> ・ <u>行政資料、郷土資料を製本化、電子化により保存し、その情報を行政に提供する取組は市政にとっても重要です。これが有効的に活用されるよう十分な周知を行うことを期待します。</u> ・ <u>レファレンスについて、エプロンにつける「気軽にどうぞねください」というような表示など、司書に気軽に声をかけてもらえるような雰囲気づくりを検討されてはいかがでしょうか。</u>

サービス内容（２）「利用者に応じたサービス」取組状況シート

参考指標

下線部は前回の会議後に追加・修正した箇所

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 乳幼児と保護者に対するサービス

☆0歳からの乳幼児を対象とする事業は、感染予防対策を講じることが困難なため令和2年4月以降中止していたが、国の規制緩和の動向を受けて、「すきすき絵本タイム」を試行として再開した。しかし対応できるすきすき絵本タイムボランティアの人数が少ないため、夏と秋のトショロ月間内のイベントで扱うこと、根形公民館図書室で開催すること等、実施方法を工夫した。

・家庭における読書活動を推進するため、保健センターと中央図書館で「図書館でブックスタート」を毎月1回ずつ実施した。配布率 52.0%。

☆「ブックスタート事業」をより周知するため、対象とする若い世代向けに市の公式LINEなどのSNS ツールも活用した。また日本語を母語としない保護者が参加しやすくするため、ブックスタートで配布する資料のアドバイスブックを多言語及び多言語絵本の紹介チラシを新たに作成した。

☆通常第3火曜日に行う「図書館でブックスタート」を平日に参加しづらい方に対応するため、夏のトショロ月間内は日曜日に試行開催した。

・保健センターで行っている4か月児教室でのブックスタートについて、「おすすめ絵本・育児本の紹介」をコロナ禍のため中止していたが、コロナの規制がなくなったこと、予約制にして定員が少なくなり密になる可能性がなくなったことから、紹介を再開した。

☆0歳からの「おひざにだっこのおはなし会」は感染症対策を講じて試行開催した。また、マスク着用ができることを条件に3歳以上の児童を対象とする「えほんのひろば」を中央図書館で開催したところ好評かつニーズが高いことが分かった。そこで12月以降は長浦、平川でも開催し、毎月いずれかの館で1回は実施し、参加者と参加機会の拡大を図った。

・中央、長浦おかのうえ図書館で「子どもイベント」として通常開催している「えほんのひろば」を対象年齢をあわせた「子ども映画会」をコラボさせることで1回あたりの参加人数がほぼ2倍となった。

・感染予防対策を講じながら、保育所、小学校、子育て支援施設等への出張おはなし会を行った。新設の保育園からも依頼があり、コロナ禍前を7%上回り 372 回実施した。

・対象年齢別のおすすめ図書リストを発行し、図書館ホームページへの掲載を行うことで利用・活用しやすくした。

・児童室では季節にあわせたおすすめ図書を展示し、適宜ツイッターで周知した。また、対象年齢別のおすすめ図書リストを発行し、図書館ホームページへの掲載を行うことで利用・活用しやすくした。

☆「子どもの本の講座」を開催し、講師にお話を聞く楽しさやお話し選び、語るポイントなどに関することを実演も交えて講義していただいた。

★「図書館でブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひざにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」「おはなし会」の申し込みがWeb上で行えるように申し込みフォームを整備した。ブックスタートは、健康推進課で新生児訪問時などに配布しているチラシにQRコードを掲載して、より多くの方に広め、参加できるように工夫した。

・夏のトショロ月間では子どもたちが読書に関心を持つきっかけとなるように「お題の本 DE BINGO!!」（平川）や「トショロからの挑戦状」（根形・平岡）を実施した。秋の

トショロ月間では子どもたちと本との新しい出会いにつながるように、絵本を紹介する「本のおみくじ」（平川・根形・平岡）の取組みを行った。

② 児童・青少年に対するサービス

- ・感染予防対策を講じながら、館内おはなし会を定期的に開催したほか、保育所・小学校・学童保育等へ出張おはなし会を実施した。おはなし会等実施回数合計 371 回

☆夏のトショロ月間の新たな企画として、中央図書館では小学校中学年から中学生向けに「ちよっぴりながいおはなし会」、長浦おかうえ図書館では「英語でおはなし会！」を開催した。

平川図書館では、おはなし会とコラボした「みんなでたのしいぬりえ教室」を、ボランティアを講師として開催した。講座終了後カウンターでオリジナルのトショロのぬりえの配布と展示を行ったところ、34名の児童の参加があった。

- ・年齢別おすすめ図書リストを2回作成し、図書館ホームページへの掲載と館内以外に学校や保育所等へ配布した。各館の児童室では、テーマを決めた定期的なおすすめ図書の紹介展示を行った。
- ・夏休みの課題支援の一環として、夏のトショロ月間期間内に調べ学習や読書感想文、自由研究についての問い合わせに約 200 件対応した。その他、読書感想文におすすめの図書のリストやパスファインダーを作成し、資料として館内で配布を行った。また、図書館ホームページへの掲載、ツイッターでの周知等広報に努めた。
- ・青少年の図書利用を促進するため、中学生向けの「ジュニアコーナー」や高校生向けの「青少年コーナー」の図書充実を図ったほか、昨年度に引き続き中学生・高校生向けに「イチオシ本のPOPを書こう！」を企画し、市内の中学校4校、高校1校から 536 人の応募があった。
- ・子どもが読書に関心を持つきっかけとなるイベントとして、こどもの読書週間記念行事を開催した。それに先行して、スタンプラリーの台紙を配布するなどを行い、積極的にPRした結果、参加者数や児童書の貸出数の増加につながった。

③ 成人に対するサービス

- ・各館では月替わりでおすすめ図書を紹介する特設コーナーを設けている。時期に応じて関心の高いテーマを取り上げるとともに、WebOPACの「図書館おすすめ」にリストを掲載し、ホームページのお知らせ、ツイッターで広報に努めた。
- ・会議資料の作り方、起業、転職、経営に関する本など、働く上で役立つビジネス資料を積極的に収集した。さらに、WebOPACの「図書館おすすめ」のリストに掲載している「ビジネス書（2022年発行）」を2回更新し、図書館で収集した新刊ビジネス書の紹介に努めた。

④ 高齢者に対するサービス

- ・地域の高齢化の進行に対応するため、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と医学関連の図書を積極的に収集した。社会福祉の分野の図書（一般書）を全館で 108 冊収集し、同分野の全開架図書 2,167 冊の約 5 %を更新したほか、医学・薬学の分野の図書を全館で 559 冊収集し、同分野の全開架図書 9,896 冊の約 5.6 %を更新した。
- ・高齢者が利用しやすい資料として、大活字本 134 冊（59 タイトル）や朗読CD 12 点（12 タイトル）を購入した。WebOPACの「図書館おすすめ」に「大活字本リスト 小説・2021年から発行」のリストを更新し、資料の紹介に努めた。

- ・秋のトショロ月間の期間には、長浦おかのうち図書館で「相続財産どこからどこまで？」をテーマに開催した。これに関連して、カウンター前で「シニアライフを楽しむ」というテーマでおすすめ図書の紹介展示を行った。

☆高齢者が読書に親しめる大活字本や朗読CDについてPRするポスターを、病院やスーパーマーケットにも掲示依頼して広く周知に努めた。

⑤ 図書館利用に障がいのある人に対するサービス

- ・心身の障がいや長期のケガ、病気等により図書館への来館が困難な市民を対象に、依頼に応じて図書館資料を届ける宅配サービスを実施した。宅配による貸出 123 冊。
- ・社会福祉協議会を通じて中川・富岡地区の民生委員へ「宅配サービス利用案内」の配布依頼をして周知に努めた。
- ・学習障がい等により読みに苦手さのある子どもへ読書支援を行うため、図書流通システムを介して行うデージー図書（※1）の提供を行い、その利用を促すため新たに申込書式を作成した。また、実施要領や申請書、案内等をわかりやすく改訂し、学校への周知を図った。

⑥ 多文化サービス

- ・外国語（英語）の図書 23 冊（一般書 15 冊、児童書 8 冊）を購入し、WebOPACの「図書館おすすめ」にも「令和4年度受け入れ洋書リスト」を掲載して資料の紹介に努めた。
- ・日本語を母語としない子どもへの読書支援として、図書流通システムを介して多言語対応の電子絵本（※2）の提供を行い、その利用を促すため新たに申込書式を作成した。また、実施要領や申請書をわかりやすく改訂し、学校への周知を図った。

☆外国語資料を活用した取組みとして、夏のトショロ月間の中で「英語でおはなし会！」を2回開催したところ、通常のおはなし会では参加の少ない小学3、4年生の参加もあった。併せて、会場に外国語の絵本を展示し、外国語資料の紹介に努めた。

★外国語図書コーナーが未設置の長浦おかのうち図書館、平川図書館、根形公民館図書室で外国語の絵本を日本語訳の絵本と並べて紹介展示し、貸出の機会を設けた。

参 考 指 標	前期計画 目標値 (R7)	R4 実績値 (R5.3月末)	達成度
⑫ブックスタートの年間配布率	80%	52.0%	△
⑬こどもの読書週間記念行事の参加者数	900 人	1,064 人	◎
⑭おはなし会の年間実施回数	480 回	449 回	○
⑮子ども向けお薦め本リストの年間発行回数	6 回	8 回	◎
⑯成人向けお薦め本コーナーの年間企画数	12 件	30 件	◎
⑰大活字本の年間貸出冊数	4,000 冊	4,619 冊	◎
⑱宅配による年間貸出資料点数	330 点	123 点	×

成果・効果

- ・感染予防対策を講じたうえで乳幼児向けに「ブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひぎにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」を行ったほか、小学校中学年から中学生向けには「ちょっぴりながいおはなし会」を実施するなど、より幅広い年代に対して子どもの発達段階に応じた読書活動を推進することができた。
- ・Web上でイベントの申し込みができるように申し込みフォームを整備し、利便性を図ったことにより新規の参加につながった。

・大活字本と朗読CDについて、病院やスーパーマーケット等図書館以外の場所にもポスターを掲示するなど積極的なPRを行い、大活字本の年間貸出冊数が増えた。
課題 ・読みに苦手さのある子どもを対象とする読書支援サービスの体制を整備したが、実際の利用に結びついていない。 ・宅配サービスについては、新型コロナウイルスの影響と利用者個々の事情により大幅に利用が減少した。
今後の対応 ・読書支援サービスについて、総合教育センターと連携して学校への周知に努めるとともに、児童発達支援施設や特別支援学校などの施設に対しても、デイジー図書の貸出等の周知を図る。 ・宅配サービスについて、袖ヶ浦市中心身障害者（児）福祉会等の当事者団体へも案内を送るなど周知の拡大を図るとともに、登録している利用者各々の状況を確認し、きめ細かな対応を行う。また、宅配サービスの対象となる来館困難者について、要件の緩和を検討する。
図書館協議会の意見 ・<u>母親と子どもという前提で乳幼児サービスを考えているように感じます。学校現場では父親の参加が増えており、父親への周知は難しいですが、次の利用者となる潜在的な層であると感じますので、図書館に来るのを「待つ」だけでなく父親の所に「入る」ということも検討してはいかがでしょうか。</u> ・<u>健常の方でも高齢になって字を読むのが大変だったり、老眼で見えにくくなったりするので、朗読CDなど聞く読書はとても有効だと思います。</u> ・<u>デイジー図書は小学生レベルのものもあるので、個別に進度が違う特別支援学級で利用できるのではないかと思います。ニーズがあるかは不明ですが、特別支援学校や放課後デイサービス等への周知も検討してはいかがでしょうか。</u> ・<u>図書館が乳幼児からシニアまで、回数や頻度、対象者層などが良く準備された多彩なプログラムを持ち、図書館サービスを行っていることを評価します。</u> ・<u>多文化サービスとして英語の図書を購入していますが、袖ヶ浦市の外国人の中で英語を母語としている国の出身者は多くありません。英語の図書を購入することは多文化サービスとは全く別の問題であり、多文化サービスへの取組という点では不十分であり、もっと市内在住外国人に向けた効果的な取組が必要と考えます。</u>

- ※１ **デイジー図書**：デイジー(DAISY)はDigital Accessible Information Systemの略。視覚障がいなどにより活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書の国際標準規格で、CD－R 1枚に約60時間の録音ができるほか、章や見出し、ページごとに聞きたい場所へ移動することができる等の機能がある。音声データと目次・見出し情報等を記録した「音声デイジー」、文字や画像が含まれている「マルチメディアデイジー」などがあり、専用の再生機又は再生用ソフトウェアをダウンロードしたパソコンで聞くことができる。
- ※２ **多言語対応の電子絵本**：袖ヶ浦市立図書館で提供するのは「多言語絵本の会 RAINBOW」から寄贈された電子図書(CD－R)で、日本語と外国語による音声読み上げ、読んでいるところが画面上でハイライトされるなどデイジー図書と同様の機能があるが、専用の再生ソフトを必要とせずパソコンで視聴できる。

サービス内容（３）「多様な学習機会の提供」取組状況シート

参考指標

下線部は前回の会議後に追加・修正した箇所

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 学校との連携

- ・学校の読書や調べ学習を支援するため、市内の小中学校からの依頼に応じて図書流通システムにより 2,911 冊の団体貸出を行ったほか、学校貸出用利用券により開架資料 774 冊を貸出した。学校図書館への貸出冊数合計 3,685 冊。
- ・中央図書館内で昭和小児童による授業の成果物の展示を行った。また、夏のトショロ月間では中央図書館で昭和中学校図書委員会のおすすめ図書展示、長浦おかのうえ図書館で袖ヶ浦高校図書委員による「袖高とコラボ！親子いっしょのおはなし会」、蔵波中学校美術部の作品展示を行った。
- ・市内の中学校・高校と連携して「イチオシ本のPOPを書こう！」を実施し、中学校4校、高校1校の計5校から536人の参加があった。
- ・昭和2年生、蔵波小2年生のまち探検の受け入れを行った。

② 関係機関との連携

- ・市民会館・平川公民館合同開催の乳幼児家庭教育学級（うたたねハッピーくらぶ）で読み聞かせと図書館活用法紹介講座「絵本の読み聞かせ&図書館を活用しよう」を行うため、図書館から講師を派遣した。
- ・郷土博物館との連携事業として、中央図書館で「～郷土博物館連携展示～富士山」の資料展示を行い、郷土博物館から展示物を借用して図書館資料とともに展示した。また、郷土博物館に図書館の展示についてのPR用掲示物を掲示依頼し、図書館でも郷土博物館の展示についてのPR及び市民学芸員についての紹介も掲示することで、互いに相乗効果がもたらされるよう工夫した。
- ・市民会館がシニアセミナーを中央図書館で開催した際に、関係資料の展示・貸出を行ったほか、平岡公民館の国際理解セミナーへ関係資料を提供した。
- ・市役所の関係課からの問い合わせに応じて、業務に必要な資料や情報を調査し提供した。
- ・男女共同参画週間（6月23日～29日）の時期に「図書館おすすめ男女共同参画社会関連図書リスト」を作成し、図書館・図書室5館のほか、市民協働推進課へも配布した。

③ ボランティア活動等の推進

- ・おはなし会ボランティア養成講座中級編を開催し、令和3年度に初級編を受講済みで「絵本の読み聞かせボランティア」に新規登録した14名のうち13名が受講した。（おはなし会ボランティアとしての登録の意思を令和5年度の登録時に確認する。）
- ・子どもの本の講座を「お話のたのしさをこどもたちに」というテーマでおはなし会ボランティアスキルアップ講座とかねて開催し、おはなし会ボランティア及び絵本の読み聞かせボランティアの資質と技能向上を図った。
- ・おはなし会やブックスタート（すきすき絵本タイム含む）、映画会、資料展示、工作など、市民ボランティアとの連携により、読書普及事業を推進した。
- ・夏のトショロ月間や秋のトショロ月間等の大規模イベントにおいて、社会教育推進員の企画・立案による催しを実施した。
- ・秋のトショロ月間では図書館登録サークルによる成果発表の場を設け、俳句・短歌作品や人

形劇の人形作品等の展示をするとともに、「大人のためのお話し会」や朗読発表会を行い、サークル活動の活性化を図った。また、図書館で所蔵する関連図書の紹介もあわせて行った。

- ・平岡公民館シニアセミナーの講座で映画作品を鑑賞する際に、図書館の映画会ボランティアが上映前の作品解説を行った。

④ 図書館からの情報発信

☆図書館が広く市民に活用されるように、市の広報紙や公式LINE、図書館のホームページ、ツイッターやメールマガジン、図書館だより等様々な媒体を活用して、図書館の資料や読書普及事業等について積極的な情報発信を行った。また、市のInstagramでも図書館の情報を紹介した。

- ・ホームページの「特設コーナー」「おすすめ図書」「新刊図書」など図書館資料に関するコンテンツを更新した際に、わかりやすいように画像を掲載して周知を図った。また、読書普及事業の実施状況についてもフォトニュースやツイッターを通じて積極的にPRしたほか、リンク集への新たなリンク先追加など、ホームページの内容を充実させた。

★2年に一度行っている「利用者アンケート」の名称を「図書館の利用に関するアンケート」と改め、「図書館を利用している方を対象とした図書館の利用に関するアンケート」と「図書館を利用したことのない方、ここ数年利用していない方を対象にしたアンケート」の2種類に分けて実施した(7/22～8/11)。また、今回より図書館を利用している方を対象としたアンケートは従来の紙以外にWebでも回答可能とし、図書館を利用したことのない方、ここ数年利用していない方を対象にしたアンケートをWebのみで新たに行った。

参 考 指 標	前期計画 目標値(R7)	R4 実績値 (R5. 3月末)	達成度
①9 学校図書館への年間貸出図書冊数	3,500 冊	3,685 冊	◎
②0 学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数	7 回	8 回	◎
②1 公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数	7 件	15 件	◎
②2 図書館ボランティア研修会等の年間実施回数	25 回	28 回	◎

成果・効果

- ・学校への図書貸出について学校司書との連絡を密にし、学校のニーズに的確に応えたことにより貸出の増につなげることができた。
- ・児童生徒の作品展示など学校との連携を積極的に行い、子どもたちが成果を発表し保護者等が見る機会を提供することができた。
- ・公民館や郷土博物館と連携した取組みを推進し、事業を充実させることができた。
- ・図書館ボランティアや社会教育推進員との協働により、図書館の運営や読書普及事業の内容を充実させることができた。特におはなし会については、ボランティア養成講座中級編を開催し、受講者を素話のできる「おはなし会ボランティア」として養成することができた。
- ・図書館ホームページ上で様々なコンテンツを更新・新規作成したほか、メールマガジンだけでなくツイッターも積極的に配信するなど、図書館からの情報発信を充実させることができた。また、市の公式LINEやInstagramも活用し情報を幅広く発信した。
- ・Web上でもアンケートに回答できるようにしたことで、就業している方や子育て中の方など、より幅広い年代の利用者から意見を聞くことができたほか、図書館を利用したことのない方や、ここ数年利用していない方も意見を聞く機会を作ることができた。

課題

- ・「図書館の利用に関するアンケート」では、公民館図書室に望むこととして、家や職場の近くで気軽に利用できるという回答に次いで、公民館に来たついでに利用できるという回答が多い。公民館を利用する方の多くは講座への参加やサークル活動であることから、公民館利用者の図書室利用を促進するためにも公民館事業との連携を図る必要がある。

今後の対応

- ・公民館図書室内に公民館事業の関連図書コーナーをつくるなど、公民館との連携を推進する。

図書館協議会の意見

- ・「イチオシ本のPOPを書こう！」はとても良い試みです。図書館でのイベント時に、POPで紹介された本についてのPR等の発表などをする場を設けることができると、子ども同士の交流にもなって更に良いと思います。
- ・子どもの作品展示等のイベントを企画するとそれを親が見に来て、ついでに図書館を利用するという「ついで」利用につながることを良く工夫して取り組んでいると感じました。
- ・今まで図書館と言えば活字が並んだ本が主流でしたが、色々な情報の様々な入手手段の場であり、見学や体験の場を提供をするところに変化してきています。図書館でのイベントに関連付けたCDや本がその場に置かれ、その場にあることで借りていくというような繋がりを出していくことも学習機会の提供になると思います。

議題（２）袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について

1 日時

令和５年１０月１３日（金） 午前８時～午後４時

2 視察先

守谷市立守谷中央図書館
茨城県守谷市大柏９３７番地の２

3 目的

守谷市中央図書館は人口規模において本市と近く、多様な読書普及事業を行っており、個人貸出冊数が全国的に見ても多いことから、その事例を視察し本市の今後の図書館運営の参考とする。

※人口６万人以上８万人未満の市区 全国２位 個人貸出冊数 ８５６千点
「図書館年鑑 2022」（日本図書館協会発行）より（令和２年度）
※袖ヶ浦市 個人貸出冊数 ３３２千点（令和２年度 新型コロナ時）

4 交通手段 市小型バス（定員２８名 うち補助席７名）

5 日程

※記載の時間は若干前後する可能性があります。

※都合により内容が変更となる場合があります。

中央図書館集合（８：００）

中央図書館（８：１５頃発）－木更津金田ＩＣ－アクアライン

－首都高湾岸線・羽田線・都心環状線－首都高６号線

－常磐自動車道－谷和原ＩＣ－守谷市立中央図書館（９：４０頃到着）

・視察 守谷市立中央図書館（１０：００～１２：００）

事業説明、施設見学、質問等

・昼食・休憩 視察終了後 場所は検討中

－常磐自動車道－首都高６号線－首都高湾岸線・羽田線・都心環状線

－アクアライン－木更津金田ＩＣ－中央図書館着（１６：００頃到着）

6 参加費

昼食代等実費 １,０００円～１,５００円（予定）

※高速代は袖ヶ浦市支給予定

<守谷中央図書館 概要>

住所 茨城県守谷市大柏 9 3 7 番地の 2

平成 7 年 5 月 1 3 日 開館

平成 2 8 年 4 月～平成 3 1 年 3 月までの 3 年間、指定管理者による図書館等の運営を経て、市直営による運営を再開している。

令和元年度～令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館・時短開館、イベントの中止、席利用の減または中止など、様々な形での制限があった。

(1) 施設概要

◇敷地面積 5, 2 3 6 m² ◇構 造 鉄筋コンクリート 3 階建て

◇建築面積 1, 3 8 0 m² ◇延床面積 3, 5 2 3 m²

(2) 事業概要比較 (令和 3 年度)

	守谷市	袖ヶ浦市
人口 (令和 4 年 4 月 1 日)	69, 996 人	65, 415 人
開館日数	295 日	294 日 (中央・長浦)
蔵書冊数 ※図書以外の資料を除く	425, 559 冊	715, 109 冊
個人貸出数	964, 363 冊	503, 871 冊
市民一人当たり個人貸出点数	13. 8 点	7. 7 点
予約・リクエスト数	280, 827 件	65, 604 件
レファレンス処理件数	6, 637 件	656 件
団体貸出数	6, 313 冊	3, 770 冊

(3) 主な行事 (令和 3 年度)

① 子ども読書まつり (4 月 2 3 日から 5 月 1 2 日まで)

- ・ブックラリー「たくさん読んだで賞」(1 0 冊以上読む)を達成した児童には賞状を授与
- ・「この暗号, おはなしのタイトルな～んだ？」

② 図書館まつり (1 0 月 2 7 日から 1 1 月 9 日まで)

- ・リサイクルブックフェア (自由配布)
- ・育児コンシェルジュによるハロウィンの工作キット配布
- ・手袋の人形作り「とらをつくろう」
- ・モンスター逃走中&モンスターからの挑戦状 (児童フロアに隠れているモンスターや本を探すイベント)

- ・読書ハーフマラソン2021（貸出21点以上で抽選に応募可／賞品は市制20周年記念絵柄のコットンバッグ）

③ おはなし会

- ・ボランティアの協力により、幅広い年齢の子どもを対象としたおはなし会などを行いました。

④ イベントなど（複数回実施のイベントを記載）

○図書館主催事業

- ・定例おはなし会：61回 564人
うちボランティア主催：56回 521人、図書館主催：5回 43人
- ・ブックスタート：24回 543人
- ・ブックトーク：24回 787人

他、各種イベントを実施

○共催事業

- ・育児コンシェルジュ工作会：5回 100人
- ・出前保育：3回
どろんこ保育園子育て支援拠点「チキンエッグ」
- ・写真展：4回
フォトクラブ写遊
「四季の里公園の彩り」/岡本恭二氏
「「まつり」風景」/石橋憲雄氏
「「守谷の白いレンコン」中村淳志さんの激射風景」/武谷祥右氏
「巣籠の時」/久保隆之氏

他、各種イベントを実施

質問内容

守谷中央図書館 御中

お忙しいところ大変お手数ですが、
令和5年10月13日（金）の先進地視察研修時に、
以下の内容につきましてご教授いただけると幸いです。
よろしくお願いいたします。

質問内容
※このような様式に委員の皆様からの質問内容を記載し、 守谷中央図書館に事前に送付（メールで送信予定）しようと思います。 質問内容がある方は、<u>9月26日（火）までに</u>、 中央図書館 庶務班 芦田まで提出願います。 別の用紙またはメールでの質問内容送付でも構いません。 中央図書館 E-mail chuo@sodelib.jp

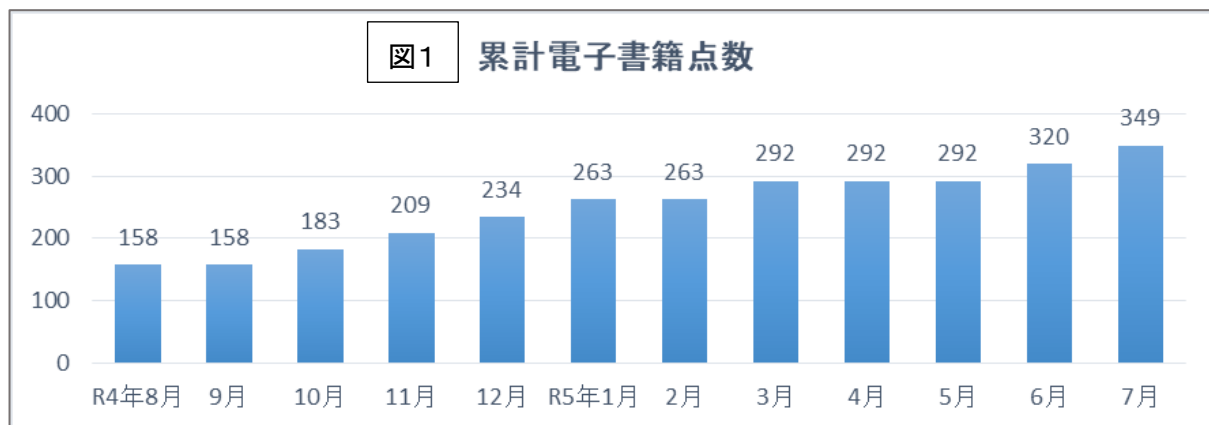
報告事項（２）袖ヶ浦市電子図書館の利用状況について

袖ヶ浦市立図書館では、令和４年８月２日に「袖ヶ浦市電子図書館」を開設しました。開設から約１１か月経過した、令和５年７月１日時点での利用状況について報告します。

１ 電子書籍提供点数

開設当初１５８点から追加を重ね、現在は３４９点提供している。

今後毎月２０点程度追加し、令和５年度末で５００点前後提供する予定である。



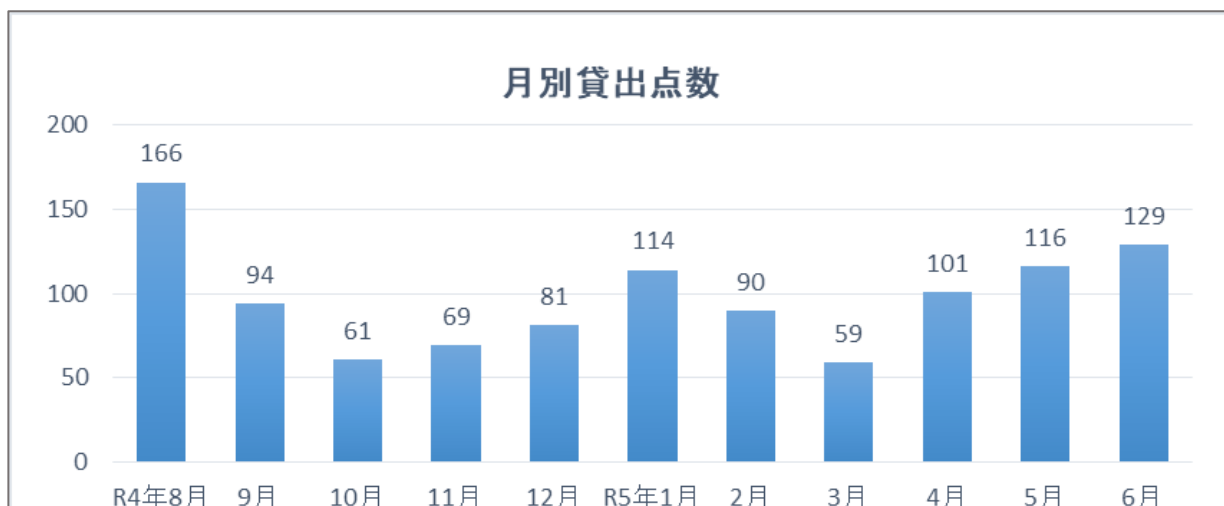
２ 実質ログイン人数（ＩＤ数） ５０３人

３ 利用者数（１か月ごとの実質利用者数の合計） ４６５人

※利用対象は、袖ヶ浦市内に在住・在勤・在学中で、袖ヶ浦市立図書館の利用登録をしている個人

４ 延べ貸出点数 １，０８０点

初月の令和４年８月が最も多く１６６点貸出し、その後減少したものの令和５年４～６月は増加傾向にある。



5 電子図書館の利用傾向

(1) 利用者の傾向

電子図書館の実利用者の男女比は女性が6割を占める。年代別の割合は40代が最も多く、次いで30代、50代となっている。一方、貸出点数の割合では、50代が最も多く、次いで40代、60代となっている。開設前に主な利用者として想定していた10代後半から20代の利用は少ない。

閲覧回数を曜日別に見ると、土曜日が608回と最も多く、日曜日が最も少ない。時間帯は12時から14時までが568回、20時から23時が775回と多く閲覧されている。

図3 実利用者の男女比

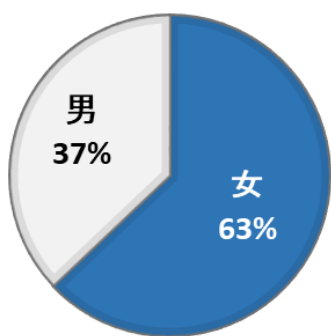


図4 年代別実利用者・貸出率

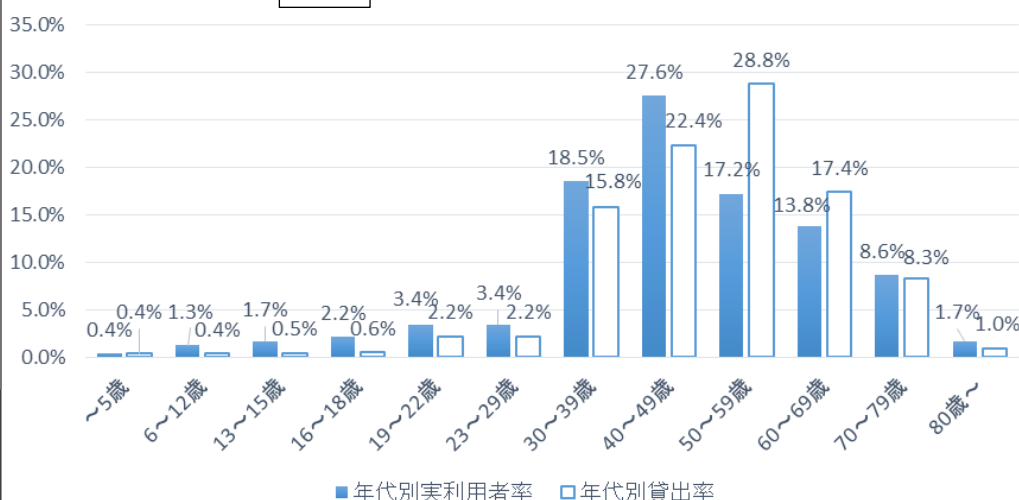


図5 曜日別閲覧回数

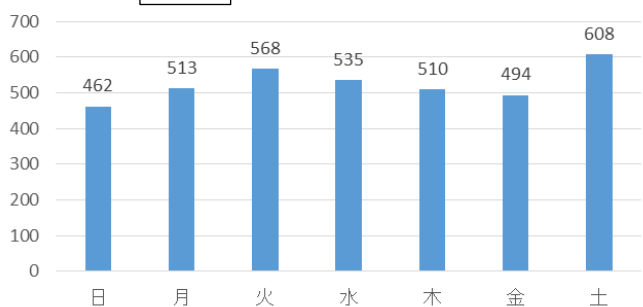
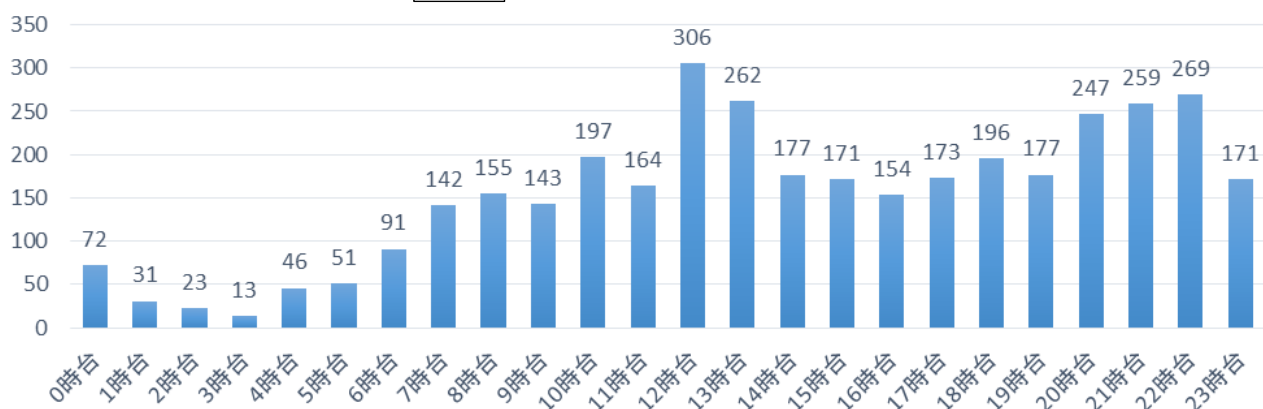


図6 時間帯別閲覧回数



(2) 電子書籍の利用傾向

貸出回数が8回以上のコンテンツをみると、購入年月が電子図書館開設時の令和4年8月のもの以外に、追加購入したものも数点上位となっている。

小説は、ライトノベルよりも知名度の高い文芸書がより多く貸出されている。

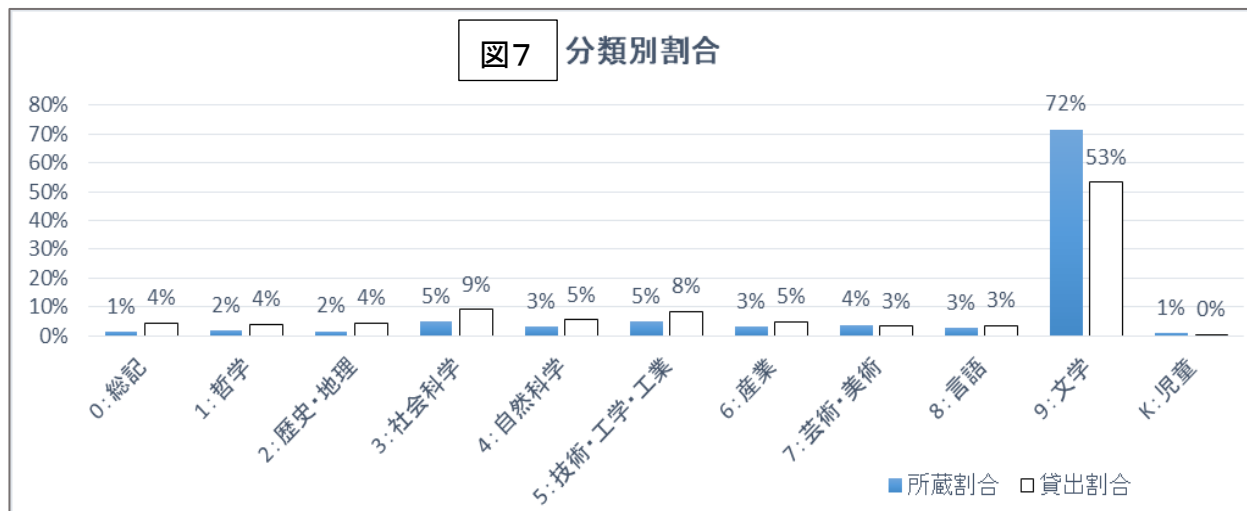
実用書は、所蔵割合としては小説より低いものの、全般によく利用されている。画像やイラストを多用した読みやすいものや、生活のヒントとなるようなものが多岐のジャンルに渡り貸出されている。

表1 電子書籍貸出回数 上位32タイトル

※網掛けは小説

順位	貸出回数	コンテンツタイトル	著者名	購入年月
1	20	かがみの孤城	辻村 深月	開設時
2	15	世界の絶景超完全版		開設時
	15	仕事ができる人の鬼インプット 電子書籍版		開設時
	15	心と暮らしが整う手帳の使い方BOOK		開設時
5	13	勿忘草の咲く町で (角川文庫)	夏川 草介	R5年1月
	13	忙しい人専用!掃除・洗濯魔法の家事ワザ 完全保存版 電子版		開設時
7	12	北欧こじらせ日記 電子版		R5年3月
8	11	幸福な食卓	瀬尾 まいこ	R5年3月
	11	ライオンのおやつ	小川 糸	R4 年12月
	11	ビジネスパーソンのための折れないメンタルのつくり方		開設時
	11	遅く帰った日の晩ごはん		開設時
	11	心がラクになる思考法		開設時
13	10	子育ては声かけが9割 電子版		R5年1月
	10	六人の嘘つきな大学生	朝倉 秋成	R5年1月
	10	マンガでわかるNISA & iDeCo入門		R4 年12月
	10	ギフト 電子版	原田 マハ	開設時
	10	喋々囁々 (ポプラ文庫)	小川 糸	開設時
	10	スマホで投資はじめよう! 電子版 (マイナビムック)		開設時
	10	フライパンひとつで! のっけ弁当		開設時
20	9	超速PC仕事術 電子版		R4 年11月
	9	いきなり英語スピーキング		R4 年11月
	9	ゆるスクワットの教科書 (主婦の友社生活シリーズ)		開設時
	9	夢を叶えるための勉強法		開設時
	9	ほったらかしで3000万円貯める! お金と投資の超入門		開設時
25	8	仕事のムダをゼロにする 超効率DXのコツ全部教えます。		R5年3月
	8	リロ氏のソロキャンレシピ		R5年1月
	8	最新日本の極上絶景・秘境 (SAKURA MOOK)		R4 年12月
	8	3万人の大学生が学んだ恋愛で一番大切な“性”のはなし		R4 年10月
	8	働く女子の仕事力アップTips大全		開設時
	8	庭を彩る宿根草図鑑		開設時
	8	人生はどこでもドア 電子版		開設時
	8	話す・聞く・書く・読む 4技能に効く はじめての英語音読		開設時

電子書籍の分類別の所蔵割合は、「9：文学（小説）」が最も多く72％であるが、貸出の割合は53％である。「0：総記」から「6：産業」までは、所蔵割合を貸出割合が上回り、貸出回転率が高い傾向にある。



6 周知活動

袖ヶ浦市広報「広報そでがうら」【令和4年8月号、令和5年8月号】

袖ヶ浦市公式LINE配信【電子書籍追加時、連休前】

袖ヶ浦市公式Instagram【令和5年6月～】

図書館ホームページ記事、フォトニュース掲載【令和4年8月～】

図書館Twitter【電子書籍追加時、連休前】

図書館メールマガジン【令和4年11月から毎月】

図書館だより【令和4年6月、9月、12月、令和5年6月】

ポスター掲示（JR袖ヶ浦駅、JR長浦駅、袖ヶ浦高等学校）【令和4年9月】

高校生向けおすすめ図書リスト【令和4年8月、令和5年7月】

袖ヶ浦高校図書室に図書館だより掲示【令和4年12月】

今後も周知活動に努め、現状では電子図書館の利用が少ない中高生にも魅力的なコンテンツを所蔵していることをアピールし、幅広い年齢層に利用されることを目指す。

図8 令和5年7月にLINE配信したイメージ



報告事項（３）令和５年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について

１ 目的

「こどもの読書週間」（４月２３日～５月１２日）の前後に、貸出冊数の拡大とスタンプラリー、おすすめ図書リストの配布やおすすめ図書の展示、おはなし会、子ども映画会などの各種行事を全館で実施し、家庭における読書活動の充実を推進する。

２ 期間及び内容

- （１）貸出冊数の拡大（全館） ４月１５日（土）～５月２１日（日）

貸出冊数の上限を、通常の一人１５冊から２０冊に拡大する。

- （２）スタンプラリー（全館）

スタンプラリー台紙配布：４月 １日（土）～５月２１日（日）

スタンプ押印：４月１５日（土）～５月２１日（日）

図書館の本をカウンターに返却した子ども（対象：０歳～小学生）に対して、返却した冊数分のスタンプを専用の台紙に押し、スタンプ２０個ごとに記念品をプレゼントする。また、期間内の館内おはなし会等の参加についても、１回につきスタンプを１個、根形・平岡図書室は職員のいる日に来室するとスタンプを１個押す。記念品は、スタンプ２０個でトショロのミニノート、４０個でトショロのカレンダー&スケジュールシールを贈呈。

- （３）おすすめ図書リストの配布（全館） ４月１５日（土）～５月２１日（日）

親子で楽しめる絵本、読み継がれてきた本、読み聞かせて面白い物語など、図書館で作成したおすすめ図書のリストを配布する。

- （４）おすすめ図書の展示（全館） ４月１５日（土）～５月２１日（日）

リストに掲載している絵本など、親子での読書におすすめの児童書を展示して紹介する。

- （５）おはなし会（中央・長浦）※４歳～小学生向け

中央図書館：５月２１日（日）

長浦おかのうえ図書館：４月１５日（土）

- （６）えほんのひろば（中央・長浦）※３歳～小学生向け

中央図書館：４月２３日（日）

長浦おかのうえ図書館：５月１４日（日）

- （７）子ども映画会（中央）※３歳～小学生向け

中央図書館：４月２３日（日）

(8) おひざにだっこのおはなし会 (平川) ※0歳～3歳向け

平川図書館：5月18日(木)

(9) ラウンジ展示クイズ (中央・長浦・平川)

4月15日(土)～5月21日(日)

中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館のそれぞれの館の展示を見て、関連クイズの答えを回答用紙に書いてカウンターに持っていくとスタンプを1個押す。台紙1枚につき、1回参加できる。

3 実績

行事名	日時または 期間	配布数・参加者数
スタンプラリー台紙 の配布	4/1～5/21	① 中央 510 枚 ② 長浦 401 枚 ③ 平川 87 枚 ④ 根形 14 枚 ⑤ 平岡 33 枚 全館合計 1,045 枚
記念品のプレゼント	4/15～5/21 スタンプ 20 個:ミニノート 40 個:カレンダー	① 中央 ノート 242 個、カレンダー 93 個 ② 長浦 ノート 82 個、カレンダー 53 個 ③ 平川 ノート 32 個、カレンダー 10 個 ④ 根形 ノート 3 個、カレンダー 2 個 ⑤ 平岡 ノート 11 個、カレンダー 8 個 全館合計 ノート 370 個、カレンダー 166 個 (プレゼント合計 536 個)
おはなし会	①5/21 ②4/15	① 中央(2 回) 25 人 ② 長浦(2 回) 11 人 合計 36 人
えほんのひろば	①4/23 ②5/14	①中央(2 回) 37 人 ②長浦(2 回) 13 人 合計 50 人
子ども映画会	4/23	中央 26 人
おひざにだっこのお はなし会	5/18	平川(2 回) 18 人
ラウンジ展示クイズ	4/15～5/21	①中央 142 人 ②長浦 68 人 ③平川 66 人 合計 276 人

4 前回との比較

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
スタンプラリー台紙の 配布人数（参加者数）	861 人	1,064 人	1,045 人
記念品の受け渡し人数	504 人	568 人	536 人
実施期間	4/17～5/23 (32 日間)	4/16～5/22 (31 日間)	4/15～5/21 (31 日間)
実施期間中の 児童書貸出冊数	21,887 冊 (32 日間)	22,063 冊 (31 日間)	22, 870 冊 (31 日間)
1 日当たりの 児童書貸出冊数	684 冊	712 冊	738 冊

5 総括

今年度も昨年度と同様に 31 日間の期間で 4 月 15 日から 5 月 21 日まで実施した。4 月 1 日から先行してスタンプラリーの台紙を配布する際に貸出カウンターで声掛けができ、効果的に周知できた。

今年度は新型コロナウイルス感染症についての規制が緩和されたため、図書館以外への外出機会が増えたにもかかわらず、多くの子どもたちがたくさんの本を借り、記念品を受け取ってもらうことができた。記念品はトショロのミニノートとトショロのカレンダー&スケジュールシールで、幼児のみならず小学生も意欲的に参加する姿が見られた。また、おはなし会やえほんのひろば、子ども映画会、ラウンジ展示クイズでは、家族で参加する様子も多く見られ、スタンプラリーとの相乗効果も得られたと考える。

また、今年度は公民館図書室の利用促進も兼ねて、根形・平岡図書室の職員が在室する日に来室するとスタンプラリーのスタンプを 1 個押すこととした。

1 日当たりの児童書の貸出冊数も、昨年度と比較して大きく増加し、子どもの読書意欲を喚起する一定の成果が見られた。来年度以降もスタンプラリーを軸に、効果的な実施内容を考えたい。

別綴じ参考資料

議題（１）令和４年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について (第２回)

○袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画指標 年度別実績・・・・・・・・・・	１
○令和４年度図書館事業の実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	３
○令和４年度図書館事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・	６
○令和４年度図書館利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	８
（１）貸出点数	
（２）利用者数等	
（３）図書分類別蔵書冊数	
（４）令和４年度ベストリーダー１０	
（５）令和４年度予約ベスト１０	
（６）令和４年度蔵書点検結果	
（７）令和４年度長期延滞資料督促実績	
○県内主要図書館の利用状況推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１１
○公共図書館統計(市区町村立図書館)・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１１
○県内公立図書館サービス指標（令和３年度）・・・・・・・・・・	１２

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画指標 年度別実績〔目標年度：令和7年度〕

		市人口	63,251	63,704	64,519	65,075	65,415	65,777	65,000
内容	サービス評価指標		H29年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R04年度 実績	R7年度 目標値
(1) 資料及び情報の収集、提供等	①	市民一人当たりの所蔵図書冊数(冊)	10.9	11.0	10.9	10.9	10.9	10.9	11.3
	②	袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数(冊/年)	303	392	271	314	377	345	300
	③	年間個人貸出利用者数(人)	146,180	148,243	140,856	77,507	119,228	127,647	149,000
	④	年間個人貸出資料点数(点)	542,863	548,560	527,781	331,988	503,871	531,779	550,000
	⑤	市民一人当たりの年間個人貸出資料点数(点)	8.6	8.6	8.2	5.1	7.7	8.1	8.5
	⑥	年間市民新規登録者数(人)	1,159	1,165	1,227	536	1,051	1,181	1,400
	⑦	市民登録率(%)	43.3	42.5	41.5	39.6	38.5	38.0	42
	⑧	年間リクエスト処理件数(件)☆	51,490	53,345	53,815	52,485	65,604	68,269	55,000
	⑨	年間レファレンス処理件数(件)	916	1,139	1,024	417	656	936	1,200
	⑩	一か月当たりのウェブ予約受付件数(件)	2,530.7	2,756.4	2,851.8	3,262.3	4,070.0	4,277.3	4,000
	⑪	来館者満足度(%)		78.2		77.7		74.0	80

内容	参考指標	H29年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R04年度 実績	R7年度 目標値
(2) 利用者に応じたサービス	⑫ ブックスタートの年間配布率(%)	84.6	82.7	82.1	33.6	50.5	52.0	80
	⑬ こどもの読書週間記念行事の参加者数(人)☆	1,019	901	985	850	861	1,064	900
	⑭ おはなし会の年間実施回数(回)☆	414	509	480	155	267	449	480
	⑮ 子ども向けお薦め本リストの年間発行回数(回)☆	6	6	6	8	8	8	6
	⑯ 成人向けお薦め本コーナーの年間企画数(件)☆	11	11	11	14	20	30	12
	⑰ 大活字本の年間貸出冊数(冊)	4,254	4,123	3,863	2,553	3,916	4,619	4,000
	⑱ 宅配による年間貸出点数資料(点)	339	359	271	167	116	123	330
学習機会(3)の提供	⑲ 学校図書館への年間貸出図書冊数(冊)	2,784	2,368	3,166	2,087	2,803	3,685	3,500
	⑳ 学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数(回)☆	8	7	7	12	11	8	7
	㉑ 公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数(件)☆	8	9	6	3	11	15	7
	㉒ 図書館ボランティア研修会等の年間実施回数(回)	28	29	20	13	27	28	25

内容			R4達成率 (R4実績 /目標値)	<参考> R3達成率 (R3実績 /目標値)	備 考
(1) 資料及び情報の収集、提供等	①	市民一人当たりの所蔵図書冊数(冊)	96.9%	96.5%	年度末の所蔵図書冊数÷市人口
	②	袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数(冊/年)	115.0%	125.7%	紙媒体だけでなく、図書館で保存したPDFファイル等の電子資料を含む
	③	年間個人貸出利用者数(人)	85.7%	80.0%	個人利用者の延べ貸出利用人数(市外利用者を含む)
	④	年間個人貸出資料点数(点)	96.7%	91.6%	個人利用者の雑誌・視聴覚資料を含む総貸出資料点数(市外利用者を含む)
	⑤	市民一人当たりの年間個人貸出資料点数(点)	95.1%	90.6%	年間個人貸出資料点数÷市人口
	⑥	年間市民新規登録者数(人)	84.4%	75.1%	市民登録者は市内在住者のみで、在勤・在学者を含まない
	⑦	市民登録率(%)	90.5%	91.7%	市民登録者は市内在住者のみで、在勤・在学者を含まない。本市では10年間未利用の登録者は除籍
	⑧	年間リクエスト処理件数(件)☆	124.1%	119.3%	未所蔵資料のリクエスト処理件数、所蔵資料の予約処理件数の合計
	⑨	年間レファレンス処理件数(件)	78.0%	54.7%	レファラルサービス、クイックレファレンスを含む件数
	⑩	一か月当たりのウェブ予約受付件数(件)	106.9%	101.8%	日常的な来館が困難な市民でも利用できるサービスの指標
	⑪	来館者満足度(%)	92.5%		隔年で実施する利用者アンケートにおいて設問する

内容			R4達成率 (R4実績 /目標値)	<参考> R3達成率 (R3実績 /目標値)	備 考
(2) 利用者に応じたサービス	⑫	ブックスタートの年間配布率(%)	65.0%	63.1%	配布数÷対象人数(市内在住の4か月児)
	⑬	こどもの読書週間記念行事の参加者数(人)☆	118.2%	95.7%	こどもの読書週間の前後に行う各種記念行事の参加者数合計
	⑭	おはなし会の年間実施回数(回)☆	93.5%	55.6%	対象年齢別に実施する図書館内での各種おはなし会、学校や保育所等への出張おはなし会の実施回数合計
	⑮	子ども向けお薦め本リストの年間発行回数(回)☆	133.3%	133.3%	乳幼児向けから高校生まで年代別におすすめ図書リストを作成し、学校や保育所等へ配布する
	⑯	成人向けお薦め本コーナーの年間企画数(件)☆	250.0%	166.7%	特設コーナーや秋のトショロ月間、その他成人向けに館内で実施したお薦め本コーナーの企画数の合計
	⑰	大活字本の年間貸出冊数(冊)	115.5%	97.9%	大活字本の年間個人貸出冊数合計
	⑱	宅配による年間貸出点数資料(点)	37.3%	35.2%	障がい者等への宅配サービスによる年間貸出資料点数合計(デジ図書の貸出を含む)
学習機会の提供 (3) 多様な	⑲	学校図書館への年間貸出図書冊数(冊)	105.3%	80.1%	小学校・中学校・高等学校への年間の貸出冊数合計(学校への団体貸出、小中学校向けに作成した個人貸出用利用券による開架資料の貸出の合計)
	⑳	学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数(回)☆	114.3%	157.1%	授業や部活動の成果を発表する場として、図書館を活用してもら。児童生徒が選んだおすすめ図書の展示、高校生とコラボでのおはなし会等
	㉑	公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数(件)☆	214.3%	157.1%	公民館の講座への講師派遣や資料提供、博物館と連携した資料展示等を実施する
	㉒	図書館ボランティア研修会等の年間実施回数(回)	112.0%	108.0%	図書館ボランティア(社会教育推進員を含む)の会議・打ち合わせ、新規募集の説明会、養成講座、スキルアップ講座等の実施回数

令和 4 年度図書館事業の実施報告

1 令和 4 年度図書館経営方針及び重点施策に基づく総括

① 事業の総括

図書館では、令和 4 年度経営方針に基づき、市民の多種多様、高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、市民に親しまれる図書館運営に努めるとともに、「市民の書斎として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを目指し、3 つの重点施策を推進しました。

② 重点施策に対する事業の成果

(1) 図書館資料の充実

- ・新刊図書の購入に加えて、郷土行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたことにより、開架書架の図書 313,194 冊に対して 11,420 冊（うち購入 10,288 冊）を受入し、約 3.6% 更新しました。新聞、雑誌等の逐次刊行物、CD、DVD 等の視聴覚資料及び調査研究用のマイクロフィルムやデータベースについて、継続的な収集と提供に努めました。また加入している視覚障がい者用のデータベースを活用し、図書館利用に障害のある人が利用しやすい資料を提供しました。
- ・市民の読書環境の充実と、図書館の利用機会の拡大を図り、8 月から図書館を利用する機会が少ない勤労世代や学生を主な対象に、来館しなくても利用できる電子図書館サービスを開始しました。
- ・幅広い年代に対して図書館の豊富な資料を紹介する取組として、特設コーナー等において市民の生活課題の解決に資するテーマを取り上げて積極的に提供しました。また、平川図書館では蔵書内容の特性を活かし、独自のテーマで展示する月を設けました。
- ・平川図書館の小説の書架について、一番下の棚を空けて高齢の利用者でも本を探しやすいように配慮しました。
- ・図書館を直接利用しない市民にも図書館の資料を広く提供するため、団体貸出サービスについて、新たに市内デイサービス提供事業者へ利用案内を送付して周知を図りました。
- ・パスファインダー（調べ方案内）を大人向けと児童向けをそれぞれ作成し、図書館のホームページに掲載しました。紙の資料は全館で配布した他、テーマに合わせ、郷土博物館など社会教育施設や高齢者支援課等関係機関にも配布して活用を図りました。
- ・図書館だよりでレファレンスの事例紹介を行うとともに中央図書館レファレンスコーナーの掲示物のリニューアルを行い、レファレンスに関する周知を図りました。

(2) 利用者に応じたサービス

①乳幼児と保護者に対するサービス

- ・0歳からの乳幼児を対象とする事業は令和2年4月以降中止していましたが、国の規制緩和の動向を受けて実施方法を工夫し、夏と秋のトショロ月間内のイベントとして「すきすき絵本タイム」を根形公民館図書室で開催しました。
- ・ブックスタートで配布するアドバイスブックの多言語版及び多言語絵本の紹介チラシを用意し、日本語を母語としない保護者が参加しやすいように整備するとともに若い世代が多いため、市の公式LINEなどのSNSを利用し、「ブックスタート」について知ってもらう機会を作りました。
- ・0歳からの「おひざにだっこのおはなし会」を試行開催しました。また、3歳以上の児童を対象とする「えほんのひろば」を中央図書館で開催したところ好評かつニーズが高いため、12月以降は長浦、平川でも開催し、毎月いずれかの館で1回は実施することとしました。
- ・WEB上で「図書館でブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひざにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」「おはなし会」の申し込みができるように申し込みフォームを整備しました。ブックスタートについては、健康推進課で新生児訪問時などに配布しているチラシにもQRコードを記載して周知しました。

②児童・青少年に対するサービス

- ・夏のトショロ月間において、中央図書館では小学校中学年から中学生向けに「ちょっぴりながいおはなし会」、長浦おかのうえ図書館では「英語でおはなし会！を開催しました。また、平川図書館ではボランティアを講師に「みんなでたのしいぬりえ教室」を開催し、講座終了後オリジナルのトショロのぬりえの配布と展示を行ったところ、多くの児童の参加がありました。

③成人に対するサービス

- ・会議資料の作り方、起業、転職、経営に関する本など、働く上で役立つ資料を積極的に収集し、さらに、図書館のwebOPACの「図書館おすすめ」のリストに掲載している「ビジネス書（2022年発行）」を2回更新し、図書館で購入した新刊ビジネス書の紹介に努めました。

④高齢者に対するサービス

- ・高齢者が読書に親しめる大活字本や朗読CDについてPRするポスターを病院やスーパーマーケットにも掲示依頼し、広く周知を図りました。

⑤図書館利用に障がいのある人に対するサービス

- ・社会福祉協議会を通じて中川・富岡地区の民生委員へ宅配サービス利用案内を送付して周知に努めました。

- ・学習障がい等により読みに苦手さのある子どもへ読書支援を行うため、図書流通システムを介して行うデイジー図書の提供について、利用を促すため新たに申込の書式を作成し、実施要領や申請書、案内等をわかりやすいものに改め、学校への周知を図りました。

⑥多文化サービス

- ・夏のトショロ月間の中で「英語でおはなし会！」を2回開催し、あわせて、会場に洋書絵本を展示し、外国語資料の紹介に努めました。
- ・外国語図書コーナーのない長浦おかのうえ図書館、平川図書館、根形公民館図書室で外国語の絵本を日本語訳の絵本と並べて紹介展示し、貸出の機会を設けました。

(3) 多様な学習機会の提供

- ・中央図書館内で昭和小児童による授業の成果物の展示を行ったほか、夏のトショロ月間では中央図書館で昭和中学校図書委員会のおすすめ図書展示、長浦おかのうえ図書館で袖ヶ浦高校図書委員による「袖高とコラボ！親子いっしょのおはなし会」、蔵波中学校美術部の作品展示を行いました。
- ・市民会館がシニアセミナーを中央図書館で開催した際に、関係資料の展示・貸出を行ったほか、平岡公民館の国際理解セミナーへ関係資料を提供しました。
- ・秋のトショロ月間では図書館登録サークルによる成果発表の場を設け、俳句・短歌作品や人形劇の人形作品等の展示をするとともに、「大人のためのお話し会」や朗読発表会を実施し、サークル活動の活性化を図りました。併せて図書館で所蔵する関連図書の紹介も行いました。

令和4年度図書館事業一覧

No.	事業名	実施期日・回数等	参加人数等	事業費 (千円)
1	図書館協議会関係費	委員10名 7月5日 11月7日 2月6日	9人 9人 10人	197
2	図書館運営事務費	開館日数 中央・長浦 293日 平川 297日 根形・平岡 298日 団体貸出 貸出点数 合計	利用者数 127,647人 貸出点数 531,779点 延べ利用数 394団体 貸出冊数 5,055冊 536,834点	63,399
3	図書館資料購入費 ・図書 ・視聴覚資料 ・マイクロフィルム ・DVD-ROM ・新聞・雑誌 ・データベース ・電子図書館	通年 中央 長浦 平川 根形 平岡 合計 ・CD ・DVD 合計 合計 ・新聞 ・雑誌 ・官報 ・法律情報 ・電子書籍	市全域 4,279冊 4,321冊 1,214冊 237冊 237冊 10,288冊 75点 8点 83点 8巻 13点 21点 26紙 154誌 購入数 292点 利用者数 196人 貸出冊数 734冊	26,343
4	電算処理事業 ・電算システム ・データベース	通年 ・図書館業務用システム一式 ・ホームページ ・新聞記事 ・TOOL i	2紙	14,294
5	読書普及事業 ・こどもの読書週間記念行事 ・おはなし会	・スタンプラリー ・記念品プレゼント ・ラウンジ展示クイズ 4月16日～5月23日 中央 43回 長浦 25回 平川 9回	1,064人 568個 192人 534人 252人 68人	665

No.	事業名	実施期日・回数等		参加人数等	事業費 (千円)
5	・ おはなしのじかん	中央	0回	0人	
	・ 夏休みおはなし会	中央 長浦	4回 2回	34人 21人	
	・ ちょっぴりながいおはなし会	中央	2回	25人	
	・ ちょっぴりこわいおはなし会	長浦	1回	13人	
	・ 英語でおはなし会	長浦	2回	33人	
	・ おひざにだっこのおはなし会	中央 長浦	6回 2回	65人 22人	
	・ えほんのへや	中央 長浦	0回 0回	0人 0人	
	・ わらべうたであそぼう	長浦	0回	0人	
	・ すきすき絵本タイム	根形 平岡	2回 0回	36人 0人	
	・ なつやすみとしょかんであそぼう		0回	0人	
	・ 袖高とコラボ！ 親子いっしょのおはなし会	8月5日	2回	43人	
	・ 青空かみしばい劇場	10月23日	2回	41人	
	・ 春休みおはなし会	3月26日	2回	23人	
	・ 出張おはなし会	27箇所		9,501人	
	・ おはなし会ボランティア 養成講座（中級編）	9～12月（全5回）		50人	
	・ ブックスタート	通年（23回）		288個	
	・ かみのおはなやさん	0回		0人	
	・ 紙花教室	0回		0人	
	・ 工作教室	3月26日	2回	29人	
	・ 新年えほんのふくぶくろ	1月5日～1月13日		133袋	
	・ 学校連携展示	2校		214点	
	・ 文芸講座	10～11月（全4回）		142人	
	・ 資料展示	通年（5回）		—	
	・ 映画会	中央 長浦 平川	16回 14回 6回	471人 612人 81人	
	・ シネマトーク	中央 長浦 平川	0回 0回 0回	0人 0人 0人	
	・ 夏のトシヨロ月間	7月15日～8月16日		1,033人	
	・ 秋のトシヨロ月間	10月22日～11月20日		2,432人	

令和4年度図書館利用状況

(1)貸出点数

開館日数 中央・長浦293日、平川297日、根形・平岡298日

	中 央	長 浦	平 川	根 形	平 岡	合 計
一 般 書	138,831	125,174	25,429	7,750	3,974	301,158
児 童 書	107,046	64,799	14,275	3,253	2,561	191,934
雑 誌	10,776	10,429	2,046	1,919	354	25,524
視 聴 覚	4,171	7,009	1,382	52	549	13,163
個人合計	260,824	207,411	43,132	12,974	7,438	531,779
団体貸出						5,055
貸出総数						536,834点

(2)利用者数等

袖ヶ浦市人口(令和5年3月31日現在) 65,777人

中 央	63,405人	市民1人当たりの貸出点数				8.08点
長 浦	48,125人	登録者総数				34,240人
平 川	10,399人	市民登録率 (登録者数 24,997人)				38.0%
根 形	3,699人	予約・リクエスト処理点数				68,175点
平 岡	2,019人	うち、未所蔵 5,438冊(購入 2,852冊・他館借用 2,586冊)				
		レファレンス処理件数				936件
		資料複写件数				698件 3,953枚
		電子図書館貸出冊数(所蔵 292冊)				196人 734冊
		ホームページアクセス件数				147,866件
個人合計	127,647人	映画会参加者数	中央 16回 471人	長浦 14回 612人	平川 6回 81人	
団体貸出	延べ 394団体	おはなし会参加者数(図書館)				77回 858人
		" (出張)				372回 9,501人
		障がい者への宅配による資料貸出				18回 123冊

(3)図書分類別蔵書冊数

(令和5年3月31日現在)

	一般書	児童書	合 計
総 記	21,029	1,853	22,882
哲 学	18,443	780	19,223
歴 史	52,593	5,551	58,144
社会科学	92,414	5,347	97,761
自然科学	38,147	15,362	53,509
工 学	58,024	5,338	63,362
産 業	22,555	3,247	25,802
芸 術	49,752	6,019	55,771
語 学	9,294	1,049	10,343
文 学	191,196	47,930	239,126
絵 本	—	72,568	72,568
紙 芝 居	—	1,659	1,659
合 計	553,447	166,703	720,150

(市民1人当たり 10.9冊)

図書以外の資料

雑誌	21,475冊
カセットテープ	1,984点
レコード	291点
コンパクトディスク	10,413点
ビデオテープ	3,780点
レーザーディスク	1,276点
DVD・DVD-ROM	1,521点
マイクロフィルム	1,501巻
地図	1,832点
合 計	44,073点

資料総合計 764,223点

(市民1人当たり 11.6点)

(4) 令和4年度ベストリーダー10

一般書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	希望の糸	東野 圭吾／著	138	7
2	白鳥とコウモリ	東野 圭吾／著	128	7
3	透明な螺旋	東野 圭吾／著	117	6
4	マスカレード・ゲーム	東野 圭吾／著	111	7
5	クスノキの番人	東野 圭吾／著	100	8
6	探花	今野 敏／著	99	4
7	流浪の月	風良 ゆう／著	98	5
8	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野 圭吾／著	93	6
9	同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬／著	92	5
10	子宝船	宮部 みゆき／著	89	5

児童書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん／[え]	300	24
2	わにわにのごちそう	小風 さち／ぶん	220	20
3	サンドイッチサンドイッチ	小西 英子／さく	215	20
4	はらぺこあおむし	エリック=カール／さく	184	16
5	いちご	平山 和子／さく	178	30
6	バムとケロのさむいあさ	島田 ゆか／作 絵	176	15
7	バムとケロのそらのたび	島田 ゆか／作 絵	174	13
8	おべんとう	小西 英子／さく	171	16
9	くだもの	平山 和子／さく	170	37
10	パーパパのたんじょうび	アネット=チゾン／さく	167	17

(5) 令和4年度予約ベスト10

一般書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	おいしいごはんが食べられますように	高瀬 隼子／著	101	5
2	ハヤブサ消防団	池井戸 潤／著	94	5
3	教誨	柚月 裕子／著	87	5
4	夜に星を放つ	窪 美澄／著	86	5
5	マスカレード・ゲーム	東野 圭吾／著	83	7
6	汝、星のごとく	風良 ゆう／著	81	5
7	#真相をお話しします	結城 真一郎／著	72	5
8	同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬／著	71	5
9	老害の人	内館 牧子／著	66	3
10	嘘つきジェンガ	辻村 深月／著	61	3
10	燕は戻ってこない	桐野 夏生／著	61	3

児童書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	大ピンチずかん	鈴木 のりたけ／作	37	2
2	かみはこんなにくちやくちやだけど	ヨシタケ シンスケ／著	30	1
3	おすしやさんにいらっしやい！	おかだ だいすけ／文	27	5
3	香君 上	上橋 菜穂子／著	23	3
5	給食室のいちにち	大塚 菜生／文	22	3
6	香君 下	上橋 菜穂子／著	21	3
7	つくしちゃんとおねえちゃん	いとう みく／作	21	5
8	鉄道	海老原 美宜男／監修	20	2
9	すうがくでせかいをみるの	ミゲル・タンコ／作	19	2
10	あんなにあんなに	ヨシタケ シンスケ／著	18	1
10	ジブリの食卓となりのトトロ	スタジオジブリ／監修	18	1
10	日本の鉄道大図鑑1100	東京:学研教育出版	18	1
10	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 17	廣嶋 玲子／作	18	2
10	まちの電車大百科	「旅と鉄道」編集部／編	18	1

(6) 令和4年度蔵書点検結果

令和5年3月31日現在

中 央	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累 計	R04～	R03～	R02～	R01～	H30～
①	317,828点	221点	9点	14点	52点	109点	37点
	不明比率	0.07%	0.003%	0.004%	0.02%	0.03%	0.01%

長 浦	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累 計	R04～	R03～	R02～	R01～	H30～
②	360,987点	171点	27点	8点	15点	79点	42点
	不明比率	0.05%	0.01%	0.002%	0.004%	0.02%	0.01%

平 川	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累 計	R04～	R03～	R02～	R01～	H30～
③	47,764点	92点	19点	0	8点	18点	47点
	不明比率	0.19%	0.04%	0.00%	0.02%	0.04%	0.10%

根 形	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累 計	R04～	R03～	R02～	R01～	H30～
④	16,901点	17点	1点	5点	5点	6点	0
	不明比率	0.10%	0.01%	0.03%	0.03%	0.04%	0.00%

平 岡	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累 計	R04～	R03～	R02～	R01～	H30～
⑤	15,985点	11点	4点	0	5点	2点	0
	不明比率	0.07%	0.03%	0.00%	0.03%	0.01%	0.00%

学校用	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累 計	R04～	R03～	R02～	R01～	H30～
⑥	4,758点	2点	0	2点	0	0	0
	不明比率	0.04%	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%

合 計	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累 計	R04～	R03～	R02～	R01～	H30～
①～⑥計	764,223点	514点	60点	29点	85点	214点	126点
	不明比率	0.07%	0.01%	0.004%	0.01%	0.03%	0.02%

※蔵書点数(在架資料点数)は、除籍予定の資料を含まないで算出。

※点検不明年度から5年を経過した資料は、6年目に除籍。(令和4年度実績50点)

(7) 令和4年度長期延滞資料督促実績 (R03.12.1～R04.11.30までの返却期限者)

年 間 実 績	累 計		
a 督促電話人数	438人		
b 電話による返却人数	302人	電話による返却率 b/a	68.9%
c 督促ハガキ送付人数	136人		

年度末(3月・蔵書点検後)	対象: R3.10.1～R4.9.30返却期限の延滞者
d 督促ハガキ送付人数	44
e 督促対象資料点数	134

県内主要図書館の利用状況推移

「千葉県の図書館2022」(千葉県公共図書館協会発行)より

	人口(「千葉県毎月常住人口調査月報」による)			個人貸出冊数			登 録 者 数						登録者数は自治体内のみ
				R元年度	R2年度	R3年度	R元年度		R2年度		R3年度		
	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1				登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	
袖ヶ浦	63,429	63,985	64,414	527,781	331,988	503,871	26,760	42.2	25,799	40.3	25,203	39.1	○
市原	269,406	268,053	266,493	1,269,243	768,651	1,221,401	143,002	53.1	144,599	53.9	147,563	55.4	○
木更津	135,615	135,845	135,947	368,549	228,420	350,024	82,833	61.1	83,778	61.7	85,327	62.8	市外含む
君津	81,951	81,200	80,750	591,725	346,800	411,747	30,691	37.5	27,944	34.4	28,341	35.1	市外含む
茂原	86,938	86,306	86,054	245,873	158,351	212,792	16,625	19.1	15,970	18.5	15,390	17.9	市外含む
千葉	980,824	983,211	976,925	3,526,700	2,804,396	3,232,023	237,527	24.2	226,830	23.1	220,408	22.6	○
浦安	171,209	170,194	170,008	1,394,341	1,268,924	1,530,561	32,904	19.2	31,771	18.7	33,922	20.0	○
市川	497,268	497,731	496,104	2,219,273	807,582	1,142,608	100,518	20.2	89,258	17.9	82,741	16.7	市外含む
成田	132,522	130,624	131,111	1,161,421	963,674	1,107,812	43,062	32.5	35,713	27.3	33,594	25.6	市外含む
白井	61,938	61,614	61,996	437,246	340,573	417,706	18,414	29.7	16,857	27.4	15,480	25.0	市外含む
佐倉	170,322	168,843	166,511	1,172,629	989,417	288,743	78,157	45.9	75,306	44.6	73,582	44.2	○

※貸出冊数は視聴覚資料等を含む。※登録者数は累計の数値。袖ヶ浦市では毎年10年間未利用の登録者を年度末に除籍している。

公共図書館統計(市区町村立図書館)

「図書館年鑑2022」(日本図書館協会発行)より

年 度	図書館総数	専任職員数(人)	年間収集冊数(万冊)	個人貸出数(万点)	資料費決算額(億円)
2021	3,239	7,941	1,398	53,101	252.38
2020	3,233	8,098	1,411	63,763	254.08
2019	3,229	8,330	1,459	66,851	258.37
2018	3,219	8,482	1,505	66,852	258.15
2017	3,215	8,691	1,532	67,421	256.62
2016	3,203	8,869	1,542	68,563	257.84
2015	3,182	8,955	1,515	67,260	254.05
2014	3,166	9,345	1,620	67,677	257.20
2013	3,168	9,583	1,641	69,267	256.81
2012	3,154	9,999	1,744	69,628	261.68

は、過去10年間の最大値
 *貸出点数は、視聴覚資料を含む
 *資料費は、経常的経費

〈人口6万人以上8万人未満の市区〉		
順位	自治体名	個人貸出数(千点)
1	笠間市(茨城県)	936
2	守谷市(茨城県)	856
3	三木市(兵庫県)	696
4	京田辺市(京都府)	674
5	塩尻市(長野県)	642
6	千代田区(東京都)	628
7	福津市(福岡県)	585
8	阿南市(徳島県)	526
9	多賀城市(宮城県)	525
10	みよし市(愛知県)	514
20位圏外	袖ヶ浦市(千葉県)	332
平均	109	308

袖ヶ浦市
 蔵書冊数：1位
 資料費決算額：11位
 予約受付件数
 :20位圏外

(千葉県公共図書館協会
「千葉県の図書館 2022」より)

(注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた。
2 人口の数値は「千葉県毎月常住人口調査月報」より(令和4年4月1日現在)
3 市町村平均・市町村合計欄の数値は、39市町村の平均・合計である。
4 図書費には臨時的経費のうち図書費を含む。
5 個人貸出登録率は累計で自治体内数(*)か自治体外数を含めるかは自治体による。
6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある。